



夢に生きたん

Takeokadai High School

1・2年生用

進路指導部 第9号

発行日 R5. 3. 24 (金)

### 34期生入試結果速報

2023年度大学入試がほぼ終了しました。大学入試共通テストにおいては、前年度と比較すると、数学Ⅰ・A、数学Ⅱ・Bで平均点が大きくアップした結果、全体としては平均点が上昇しました。しかしながら、理科②で得点調整（各科目の平均点が20点以上開いたときに実施される）が行われるなど、実施3年目ですが、まだまだ各教科・科目の難易度が安定していない部分も見受けられました。特に生物の平均点が2年連続で低く、様々な切り口の実験考察問題が出題され、高い思考力を要求されました。

本校では、共通テストにおいて第1志望校の判定が昨年よりも厳しい結果となりました。しかし自分の目標を定め、最後まで頑張りD判定やE判定から合格した人もいました。最終的な結果としては例年並みとなり、すばらしい粘り強さを発揮しました。また、国公立大学の前期日程試験だけでなく、卒業式後に実施される中・後期日程試験にも、果敢に挑戦し、卒業式翌日以降も小論文や面接の指導を受けていました。最後の最後まで粘り強く頑張ったことは、今後の人生の自信につながるはずです。

さて、毎年同じことの繰り返しになりますが、どういう人たちが合格していくのか!?共通テストでD判定やE判定でも、各大学の個別試験へ向けて頑張り続けた人たちは合格を勝ち取っていますが、それまでの学習が付け焼き刃では最後まで戦えません。最後まで戦い続けるための秘策を、1・2年生のみなさんに送ります。シンプルだけど意外と徹底が難しい以下の2点やってみよう!

- ・ 学校から提供された授業や課題に「本気」で取り組む!
- ・ 「本気」で取り組む開始時期を「3年の夏」からではなく「今」からにする!

【34期生 合格状況一覧】(3月23日現在 国公立大学のみ)

国立大学	推・AO	前	中後	合計	公立大学	推・AO	前	中・後	合計
愛知教育大		1		1	都留文科大			1	1
和歌山大		1		1	山梨県立大		1		1
高知大	1			1	静岡文化芸大		1		1
九州大		1		1	岡山県立大		1		1
福岡教育大		2		2	周南公立大		1		1
長崎大	5	2		7	下関市立大		1		1
佐賀大	1			1	山口県立大	2			2
大分大		3		3	北九州市立大	4			4
熊本大		1		1	福岡県立大		2		2
宮崎大			1	1	長崎県立大	3	4		7
鹿児島大	20	25	7	52	宮崎公立大		1	1	2
琉球大		1	1	2					
合計	27	37	9	73	合計	9	12	2	23

34期	推・AO	一般	合計	33期	32期	31期	30期	29期
国公立大学	36	60	96	105	74	104	96	84
公立短期大学	4	25	29	49	47	50	41	32

### 3年生の受験体験記から抜粋！在校生への渾身のアドバイス！

先輩方の生の声です。1・2年生の皆さんにはとても現実的で響くと思いますよ。

※ 文中の「・・・」は中略です。

- 共通テストで悪い点数を取った私は、・・・悩み続けました。この時点で2次試験の勉強をしなければと頭ではわかっていたが、勉強が手につかないほどに心が疲れていました。唯一の救いが周囲の人の存在でした。・・・このとき「受験は団体戦」といわれる理由を実感しました。
- 僕は1・2年生の頃は、・・・受験に向けての勉強が出来ず、中間テストや期末テストの前日に詰め込むという勉強をしていました。しかしそれでは記憶に定着せずに数週間後には忘れていました。
- 周りの人たちが使っている参考書をまねして買ってやっていたのですが、正直自分に合った勉強法なのか分かっていませんでした。
- 私は周りの人たちと比べて受験生としての自覚が芽生えるのがかなり遅かったと思います。・・・本格的に勉強を始めたのは3年生の2学期というかなり遅い時期でした。・・・私は私立大専願で受験科目が少なかったからどうにか持ちこたえたのですが、何教科も受験する国公立大学なら大失敗だったのではないかと思います。・・・来年、再来年受験する方々にはもっと余裕を持って本番に臨んでほしいです。そのためには早め早めの準備が大切です。
- 私は元々したいことが全くなくて、ぼんやり・・・県内で国公立大学だから鹿児島大学を目指すことにしました。しかし共通テストで得点できず、・・・鹿大をあきらめ他の県外大学を受験することになりました。そのときにとってもバタバタして焦ってしまい・・・ちゃんと事前に他の大学と比較して調べておくべきでした。
- 自分が一番つらかったのは結果が伸び悩んだことです。・・・個人的に失敗したなと思うことは、短期間にもものすごく詰め込みすぎたことです。・・・自分に合った勉強法を探していく必要があると思いました。それを知るために早くから勉強を始めておけばよかったと後悔する日々です。
- 私の受験は後悔することが多かった。・・・推薦入試を受けたが、推薦入試というものが必ず合格する保証はないことは理解していたつもりだが、どこか頭の片隅に自分は大丈夫だろうという甘い気持ちがあった。・・・推薦入試結果は不合格。結果論にはなってしまうが私の場合推薦入試は受けなくて、一般入試1本に絞るべきだったと後悔した。
- とにかく私が伝えたいことは、早くから自分自身と向き合うことです。
- 受験勉強は思っているよりだいぶきついです。高校入試とは比べものになりません。しかしきつい中勉強をがんばることができれば、点数も伸びます。そのときの喜びはとてつもないです。みんなにも味わってほしいです！
- 3年生の1学期までは部活に夢中で勉強や受験についてあまり考えていませんでした。2年生末の時点で県外私立大学を志望してはいましたが、正直あまり具体的な希望があるわけではありませんでした。そのため、受験のことは遠く先で、自分はどうにかなるだろうという甘い考えを持ったまま過ごしていました。部活の引退が遅く・・・そんな状況でも周りに追いつこうとする努力をしていませんでした。2学期になっても勉強に力が入らず、志望校もコロコロと変え、全く決まらないまま毎日を過ごしていました。・・・勉強するときも、目標がないために、自分は何のために勉強しているのだろうと常に思っていました。そして2学期末、共通テストまで一ヶ月前後の場面で自分の考えていた大学をあきらめ国公立大学を受験することを決めました。しかしこのときの成績はボーダーに届いておらず、さらに下がり始めました。不安や焦りを感じながらも、一生懸命になれない自分があり、いつまでも前向きになれませんでした。